

特251
479



0037614-000

特251-479

我国労働組合運動の展望

工場世界社

第1篇

昭和6

AGF

3
2

持

479

分館
入
社

頭の

3

2





我が國労働組合運動の展望

詞

山岡

(第一篇)



一九三〇年は不景氣のドン底に於つた。三一年もドン底から解放されさうもないだらう、ドン底の生活から藁をもつかまうとする人達は、倒れかゝつた工場、會社を引受けて、従業員の經營下に置いたりした。それは最近の顯著なる傾向であらう。而してこの傾向は當分續くと共に、或程度の成功をも勝ち得ることが出來やう。だが、それによつて労働者の解放は期待されない。終局は、さうした生ぬるい妥協で進めないのである。

然らば、一体どうしたらよいか。我々には今こゝでその結論を摘出する余裕をもたない。だが、そ

② れは簡単に組合運動と政治運動とのそれ／＼の完全なる發展と、それらの完全なるつながりであるといふことが出来る。その意味において組合運動の展望を行ふことは有意義であらう。長い間、下積みになつて、もがき、あへいで來た無産階級の青葉と太陽とに向つて起ち上る努力の部分的な酬ひは、この組合運動の展望の一部を構成する。その構成を通して一九三一年の前途も窺へるわけである。農民組合が村政を牛耳つてゐる村もある。八萬圓の社會館をもつ横須賀の組合もある。組合戦線の展望をまづ組合をして今日あらしめた中心人物の月旦から始める。

人物 月旦

鈴木文治君

誰が何と云はふとも、日本の労働運動の草分けは、彼なのである。大正元年八月、友愛會といふ一寸宗教味を残した組織を彼が作つたのが、労働運動のそも／＼だ。友愛會から、大日本労働總同盟友愛會へ、それがまた日本労働總同盟へ轉じたのである。

鈴木君がいよ／＼永年住み慣れた總同盟を去つて、所謂第一線から身を退くことが判つた時に、總同盟たらずとも、これを惜しんだのも故あるかなで、彼は無策の好人物、無策なるがために無爲無能とさへ悪口をいふものもあるが、無策は無能ではない。策略を弄する必要がないか、弄することを潔ぎよしとしないからか、いづれかである。彼が無能であつたなら、どうして今日の總同盟の大をいたすことが出来たであらうぞ。時代は一面彼を乗せて順調に物事を運ばせたとも考へられないことないだが、それは彼の功績を帖消しにするに何の役立ちもしない。

彼が育て、來た總同盟も、大正十二年の方向轉換、現實主義政策一点張り以來、三回の分裂を重ねて來た。第一回は組合評議會との分裂、第二回は組合同盟との分裂、第三回は全國同盟との分裂であつた。分裂して總同盟を去つたこれらの人々は、決して鈴木君に反感を持つてゐない。鈴木君自身もこれらの同志に友情を感じてゐる。而してこれらの人々と道であつても、遊びに來給へとか、身體の工合はどうだとか、なか／＼人情味をもつて接してゐる。彼の美点と欠点はやはり此處にある。彼は個人を憎めない性格だ、だから、彼は資本家とも談笑する。道では丁寧に挨拶もする。だから、階級性をもたないとさへ評されるのだ。

鈴木君が、いよ／＼引退と聲明した時、聲を出して泣く男さへあつた。某君の如きは、自分の組合員は、總同盟に鈴木さんが居るから加盟してゐるので、會長が鈴木さんでなかつたら、總同盟にはゐないのだ。總同盟に加盟した時、鈴木會長が見えて組合員の一人々々に握手をして呉れた。それを未だ皆が覚えてゐるのだと實感を述べてゐたが、鈴木君は杯をもらつて大親分でさへあつたのだ。鈴木君のところへは、組合員はよくせびりに行く。風呂銭がないからとか、晩めしを食べたいからとか、これらはまだ始末のよい方で、活動がみたい、芝居へ連れて行け、等々。それでも彼は殆んど嫌な顔をしないで云ふことを聞いてやつてゐる。

③ 廿年の馴染み深い生活と今度こそは、本當におさらば。今後彼はどうした方向に進むか。第二陣にあつて組合運動を助けて行くといふが、彼なき跡の總同盟はどうなるだらうか。仙氣を氣に病むのは筆者ばかりではあるまい。鈴木君のことだ。決して總同盟を見棄てはしまい。第二陣にあつて各種の

④ 調査、啓蒙運動に進んで行くに彼が云つてゐる通りやり遂げて行くだらう。だが、世間は彼をそのままに置いておくかどうか。

松岡駒吉君

旋盤工の出身だけあつて、軀軀はガツチリとしたものだ。學歷といつてはないが、彼は努力の人だ。あつて、なか／＼色んな事を知つてゐる。字も達者だ。彼の性格をむき出した雄渾な筆致でよく組合支部などで書かせられてゐる。「機關車」といふニックネームを奉つてゐる。強く、固く、間違ひなく、驀進する。労働代表にも行つて來た。箔は十分についてゐる。熱の男であり、一面策の男であるとも云へる。

總同盟の關西探題を西尾君とし、關東探題を松岡君と世間ではしてゐる。然し、總同盟の經歷から云つても、組合統卒者としての手腕から云つても、松岡君の方が遙かに上席だ。鈴木君去つた總同盟を背負つて行くのは、彼より外には今のところ見當らない。彼は早晩鈴木君に代行するであらうが、どうしたものか、人望が少い。あまりに偏し過ぎるのかも知れない。見分は随分愛するといふことだ。鈴木君が會長の席を去ることについての總同盟員の悲しみは、會長難に一部分の理由があつたらしいが、或は然うであらう。鈴木君が後任として松岡君を擬してゐるが、これだけは鈴木君の云ふことだと聞かれはしまい。だからといつて、然らば誰が後任か。これ程困難なクロスワーズはあるまい。松岡君は議論に熱して來ると無暗に兩の掌をこすり合せて、煎茶のやうな手垢を頻りと製造する癖がある。こうしたことを發見して喜ぶ癖のゴシップメーカーもある。

西尾末廣君

總同盟を論じて、西尾君を逸することは到底できない。西尾君は總同盟出身の代議士であり、二回當選の榮を擔つてゐる。西尾君も松岡君と同様に、純労働者出身で、總同盟生え抜きであるが、松岡君などよりズツト若い。今はあまり振はないで伊豆邊で地方無産黨を作つてゐる久留弘三君が關西の労働運動界で鳴らしてゐた時分、久留君に見出されて一躍總同盟關西同盟會の主事に抜かれたのが出世の始まり。當時、西尾君の先輩であつた久留君は勿論、東忠續君、藤岡文六君、八木信一君、平井美人君、安藤國松君等の數々の人々を尻目にかけての大出世振り。此等の人々は西尾君との策較べに負けたのだとの評判である。彼等は西尾君を仇敵の如く考へて居る。夫々立場を異にしてゐるがそこには何か理由があるだらう。だが、西尾君は智者であるといふことだけは定評だ。今度の労働代表に選ばれることになつてゐて、また西尾君以外に適任者のないのを知つてゐて辭退したあたり、矢張り彼は賢明な男だと首肯させられる。西尾君が松岡君と總同盟を二分するための第一歩だと説く者もあるが、これはあまりに皮相だ。今總同盟の勢力を二分して何になる、西尾君が労働代表を辭退したのは、總同盟の會長後任に伴ふ危機をば、松岡君と二人で平生はどうあれ、擔ふ決心からであらう。西尾君にしてみれば、今松岡君を助けて總同盟の會長問題を解決しておかなければ、西尾君の男としての意地が許すまい。それ位のことゝが判らないで、分裂直後の全國同盟を向ふに廻しての一戦に美事な打ちやりを演ぜられはしまい……

6

總同盟には、松岡、西尾兩君を除けば、その次に来るものは同じレベルに属する人達ばかりだ。關東では、齋藤健一、原虎一、三木次郎、福岡金次郎、土井直作の諸君、關西では金正米吉、金光平、今津菊松、伊藤卯四郎、前田種男の諸君。西尾系、松岡系と分類するとすれば、西尾系は頗る貧弱だ。今津、伊藤兩君は中立。今津伊藤兩君はなか／＼の傑物だとの噂はあるが、まだ實戰的にその傑物の傑物たる所以を總同盟外に現はしてゐない。この未知數を西尾君が獲得すれば、勢力伯仲とならうも知れぬ。然し、これは西尾松岡の對立とでもなつた場合のこと。總同盟なほ天下泰平たり矣である。

大矢省三君

最近はめき／＼と男をあげて來た。全國同盟が總同盟と分裂以來のことである。總同盟では西尾君よりも古い位。だが、元來が地味な人だけに、表面には出なかつたのだ。それがだん／＼とところてんのやうに突き出されて來たのだ。あの顔、あの話し振り、彼のどこに山ツ氣があるかと云ひたい。大阪第四區からさきの總選舉に出たが、第四區は無理で、彼が住んでゐる第三區から出てゐれば、西尾君にはトテモ強敵であつたに相違ない。省三は戸籍面の名でなく、庄藏といふのが本當。でも、今では省三の方がよく通つてゐて、庄藏と書けば人が笑ふ。總同盟の分裂の際、西尾君の方では、大矢君は出て行くことはあるまい。大矢君が居残れば、澤山見積つても千か二千位だと見當をつけてゐた所が、大矢君は例の潔癖氣質だ。少しでも腑に落ちない点があれば、氣が進まない、分裂した方では得心の行く所まで説明した。大人しい、内氣なやうでも、内心強氣の彼のことだ。よし！ それでは西尾君に反對だと、動き出してあの大分裂だ。總同盟の某君が云つてゐる。大矢君さへ、居ればあの

三分の一も動きやしないと。それ程の聲望を持つてゐる。

大矢君は女房役の山内鉄吉君とよく事務所を指してゐる。その將棋を見てゐると彼の性格が窺へる。駒を置くのさへ地味だ、山内君は陽氣に、鳴物入りの將棋。大矢君はムツツリと駒を下す。陽氣に壓倒されることは屢々である。技量は伯仲だからだ。

上條愛一君

組合同盟も全國同盟と合同して、全國労働になり、大矢君を組合長にしてからは、棚橋小虎君が淡路へ引籠つてしまつて、舊組合同盟系を代表してゐるものは、上條愛一君になつてしまつた。上條君は村夫子然として、大矢、山内、藤岡、望月などの諸君を生徒か、子供のやうに見下してゐる。決してそれは壓迫してゐるといふ意味ではない。氣持ちの上から、上條君は年寄りジミてゐるからである。それは彼が組合の財政その他常に仁長的な悩みを悩み抜いてゐるからかも知れない。村夫子は、實に組合事務に熱心だ。さうした椽の下力持ち的人物の存在が、組合の實勢力を作り上げる必要なのである。上條君のその顔付き、頭の禿げ工合を見てゐると、シミ／＼と組合内部のつらさを考へさせられる。彼は女性的の聲の持主である。それでゐて、なか／＼思想的に尖い所を見せる。聲と釣合はないとさへ感ぜさせられる。

加藤勘十君

この頃は、組合運動よりも政治運動が主になつたらしいと悪口が聞かれる。加藤君に限らない、普選以來、無産陣營に漲つた傾向だ。組合運動が沈滞するのも無理はない。加藤君の政治運動は、兄貴

7

⑧ の加藤鯛一君と血統かも知れないし、また彼が目かくしした悍馬のやうに、たゞ一と筋にこれと思つた方向に走る性質からかも知れない。だが、加藤君のことだ。争議でも、組合の組織でも、一と筋にその中に走り出さう。彼は幼少の頃、名古屋のある呉服店へ丁稚にやられた。その旦那が當時の加藤君の勤務振りに感心して、この前の總選挙には三百圓、今度は五百圓、軍用金を送つてくれたさうだ。加藤君とは、さうした人だ。代議士になつてゐれば、囃議會で名物男になつてであらうに……。それにも増して加藤君の組合運動での活躍を我等は切望する。

山内鐵吉君

日本人ばなれした風貌、演説もうまい。人に好かれる男である。この頃は以前程勉強もしないといふことだが、頭も相當鋭い。住友伸銅所の職工だつたのが、争議で減首されたのが振出し。労働運動には十年の経歴をもつ。全國同盟を分裂させたのが彼の辯舌だつた。頓智のある男で、かういふナンセンスを思ひ出としてゐる。大阪の脇鐵線の争議がなか／＼解決しない。脇のおやぢは大の稻荷信者だときいて、工場内の稻荷に参詣し、稻荷さんは争議をこれ／＼の條件で解決せよとお告げされた。嘘と思ふなら、往つて聞いて來い。おやぢはウヤ／＼しく稻荷に詣つた。歸つて來て、よく判りました、解決させよう。大勝利で收めた。といふのだ。彼らしい話だ。嘘ではない、嘘と思へば、稻荷さんに聞いて下さいだ。全國同盟の大矢、山内と付きものだつた。全國労働になつてからは、大矢君は執行委員長、山内君は關西事務局長。關東事務局長はなくて、關西事務局長のあるのは、組合統制上の一政策の現はれである。

藤岡文六君

軀軀は五尺に満たぬ小男。だが、その聲の大なること、膽ツ玉の大きい事で有名だ。藤岡君、今年はいくつだと、聞くと。大喝一聲、「何に俺は子供ぢやないぞ!!」と嗷鳴りつけるが、後からでも見やうものなら、まるで子供だ。住居……尼崎の名物男で、氣轉のきくところからか、いろんな會合では直ぐに議長に祭りあげられる。生れつきの議長なのか、場内の整理などはうまいものだ。時には議長横暴の叫びなどを何をいつてやがるとばかり、一睨みしておいてサツサて片付けて行く。これと思つたら誰がなんといつても取り合はないところに、彼の勇敢さがある。東洋モスの大争議も結末をつけるのに、勞資とも弱つてゐたのを、彼小軀をひつさげて東上アツサリト解決してしまつた。全國労働の統制委員長、役目もピツタリと適してゐる。座談もなか／＼上手だ。山椒のやうな人間だ小粒でもとても辛い。資本家にとつてもかやうな男は手ごはいことであらう。氣に喰はぬとよく、机の上にあぐらをかくだけの無作法さも持つてゐる。

その他

⑨ 全國労働は人物から見れば、全國のどの組合も及ばぬ闘士揃ひである。それだけにズツト頭角を現はしたものはゐない。今は組合よりも政治の麻生久君にしてからが、中間派の支持する政黨の黨首になるのにはなか／＼の見習期間を必要とした。レベルが等しいからの惱みなのだ。望月源治、菊川忠雄、石橋憲一、金井芳次、高梨一夫、茅野眞好の諸君が關東側、關西側では、鈴木悅次郎、山口常次郎、安藝盛、高橋松次、井上良二、今村等、中島英治、柴田富太郎の諸君である。

坂本孝三郎君

總聯合の總師である。總聯合のピカーである。總聯合から阪本君を除けば總聯合はないとさへ云はれる位、彼は一偉傑である。西尾君とは大正八年頃大阪鐵工組合にゐた時分から犬猿たゞならぬ仲でその延長が昨年の鐘紡争議を中心とした兩組合の亂闘、兩者の立會演説まで展開されたと見られる。立會演説では、阪本君が負けたと一般に云はれてゐる。それは演説會で負けたのであつて、その人間的の實質生活において負けたのではないといふものもある。同じ材料を以てすれば。阪本君は西尾君に勝てない。然し、阪本君は努力家だ。辯証法の講義を聞きに、京大に三年間通つたといはれる程、彼は勉強する。彼一流の理論はかくして生れる。だから、彼の勉強中は妻君と雖も、二階に上げない彼はあゝ一つの大希望をもつてそれに向つて精進する。その大希望とは何か。彼自らでなければ明確に云へないことであらう。

總聯合の中では、他の組合と同様に反幹部派といふ厄介なものが存在してゐる。阪本君はそれを知つてゐるや否や。これを知ると知らぬとに拘らず、事實それはある。だけど、その反幹部派をして他の組合の反幹部派の如き態度をとらしめず、彼の統制の下においてゐる点、彼はまた他の組合幹部に見られないところがある。それは一つは親分的氣魄があるからかも知れない。

總聯合の高山久藏君は東京を、森脇甚一君が神戸をと、それ〴〵探題的役目を遂行してゐるが、ただ〴〵話題に上るところまでは進まない。大阪の橋本定吉、今井武吉君等も同様だ。

八木信一君

阪本君と同様に純向上會を一人で背負つてゐる。總聯合、組合聯合と三色旗を守つてゐた時代はあつたが、今はわかれ〴〵。だが、それは喧嘩分れではないから、別れてゐても、對立はしない。官業労働の畑にあつた八木君が川村保太郎君と袂を分つた背後には、總同盟及び西尾君が謀略をめぐらした結果であるといはれてゐる。従つて、川村君と八木君、西尾君とは共に運動は絶対にやれない。その反面、川村君と西尾君とは頗るよい。川村君を助けて今日あらしめたのは西尾君だし、西尾君の不利を極力辯護してゐるのは、川村君だ。川村君が労働代表に行くことに決定したのも、西尾君の指金が興つてゐる。川村、西尾は切つても切れぬ仲だ。八木君にしてみれば、川村君が労働代表に行つたり、西尾君が代議士にでたりすることは癪の種かも知れぬ。でも、八木君の偉いところは、世間から……主として組合關係者から何のかんのと云はれながらも……漸次純向上會をたくして、今では六千名以上の組合員を有し、それが名古屋、大阪、京都、山口、北陸と進められて來てゐる点だ。川村君と八木君とを喧嘩にもたらしめた時、西尾君等は八木君もこれでおしまひだと考へたであらう。さう考へられるのが當然だつた、それを乗り切つた点である。それは阪本君と同様に親分氣質からだ。だが、その親分氣質は大分性質が違ふ。純向上會には反幹部派がゐないではないか。八木君を助けて常に腰巾着のやうに働いてゐるのに、丹羽市太郎、内田文市の兩君がゐる。兩君の努力も買つてやらねばなるまい。

杉山元治郎君

畑は農民組合であるから、労働組合と同一に視ることはできまい。だが、解放運動史上の人物とし

⑫ て彼を逸することは出来ない。牧師上りであり、農會技手である彼は、必然的に農民運動に入り込んだのだ。日本の農民運動は、右に行かうが、左に走らうが、運動それ自体から見ても、杉山君と賀川豊彦君とを忘れてはなるまい。この二人こそが、農民運動の開拓者なのだ。焼芋屋を開きながら、キリスト教の宣傳をやつた男だ。その當時、杉山君に助けられた青年の多くは今でも階級運動に足を入れてゐる。彼は種蒔く人だつた。刈入は他の人がやるだらう。たゞ蒔いて行けばよいのだ。だが、世間は彼のお人好しをよいことにして彼にも刈入れをやらさうとする。それが彼の失敗とみてよい。人間は地味だ、その地味さを今少し轉換して若返らなければ、彼は徒らに過去の人と化してしまふだらう過去に追ひやるには惜しい。特に日本のやうな國ではだ。……

農民組合の人物としては、小岩井淨君がゐる。だが小岩井君を完全に組合の人となることは出来ない。他には、前川正一、三宅正一、吉田賢一、行政長藏、石山寅吉、松本積善、荏原達の諸君がゐる。多士済々の感がある。それだけに三、一五事件の被告が一番に多かつたのも無理のない話である。貧乏な農民組合も、大阪の淨館から移轉した。移轉して數日後に、前の總本部は火事。書類その他はやけずに済んだが、組合財政からしてみれば、焼けた方がよかつたかも知れぬ。常任になつても、組合長になつても、組合から一文も入らない。杉山君の如きは、原稿料、傳道謝禮で生きてゐる。本部を助けてさへゐる。それにも拘らず、若い唯物的な連中は、杉山さんのキリスト教も困つたものといふ。どつちが本當に困つたものか、判つたものではない。

濱田 國太郎君

海員上りであるだけに膽つ玉は坐つてゐる。見るからに慄悍な面構へ、一寸たち／＼せずにはゐない。その面構へなればこそ、陸上とちがつて氣の荒い連中揃ひの海員組合員八萬數千名を配下におくことが出来るのである。濱田君の代りに、米窪君でも、赤崎君でも、堀内君でも、持つて来てみ給へ海員組合はうまく収まるかどうか。そこが濱田君の値打だ。四十萬圓もする事務所と財産を持つてゐる組合。會費徴収率は百パーセントといふから凄い。それは船のボースン連が取立てるのだ。而して取立て料として全額中の何パーセントとかがボースンに支拂はれるといふ。一寸面白い制度だ。だから、海員組合は財政部の確立などの議案を毎年々々提出して、大會だけは通るが實際的には確立しないで、シドロモドロの金庫とは、趣きがちがふ。争議が起つてもビクともしない。

この頃は總同盟と大分仲がよくないらしい。色々の噂が飛ばされてゐる。濱田君の氣質からすれば西尾、松岡君等を好くはずはなからう。濱田君は一本木の男だ。眞すぐに行く。裏からこつそりは、生れつく敵同志だ。さつくばらんに行くのだ。さすがは、海の上で練られただけある。だが、これと睨まれたらどこまでも追つて來る強さがある。郵船會社あたりが、濱田君の片眼をおそれは、かつてゐる所以だ。

人物月旦は、もつと書きたい。書かねばならぬ人物も残されてゐる。組合の中心がやはり個人中心である現在では必要事だ、然し、ページに制限がある。いづれ次の機會を待つてお目見えすることゝして次ぎは組合篇にうつる。

⑭ 現在における主要なる労働団体を挙げると、次の通りであるが、組合員数については各組合とも多少誇張的數字を公表し、その實數の外部に洩れることを極度におそれてゐるため正確な數字は不明である。然し大休においてこの調査は實數に近い充分の理由をもつてゐる。昭和四年末現在……

一、聯合体

名稱	本部所在地	創立年月日	組合員數	産業、職業一般労働者の別	役員
海軍労働組合聯盟	廣島	大正十三年三月	四二、九四二	産業	宮崎 繁市 加藤 勝藏
全國労働組合同盟	東京	昭和五年六月	四一、五九〇	一般	全 中央執行委員長 大矢 省三 主事 上條 愛一
日本労働總同盟	東京	大正元年八月	三七、六一一	一般	主事兼會計 松岡 駒吉 名譽會長 鈴木 文治 中央委員長 飯野 幹榮 中央委員長 西浦 宇吉 主事 川村保太郎
日本交通労働總聯盟	東京	大正十五年六月	一九、〇〇〇	産業	中央委員長 飯野 幹榮 中央委員長 西浦 宇吉
官業労働總同盟	大阪	大正十三年三月	一六、〇〇〇	一般	中央委員長 西浦 宇吉
日本労働組合總聯合會	東京	大正十五年一月	一一、五〇〇	一般	中央執行委員長 坂本孝三郎 中央委員長 佐藤幸太郎
武相労働聯盟	神奈川	大正十四年五月	八、六〇〇	産業	

日本労働組合全國協議會	東京	昭和三年(非公式)	七、九〇〇	一般	組合長 前田 隆一
足尾銅山針職夫組合聯合會	栃木	大正十四年一月	三、六五〇	産業	組合長 綿引邦豊夫
全國労働組合自由聯合會	東京	大正十五年六月	一、六〇〇	一般	連絡委員 吉川修(外二名)
日本窯業労働總同盟	愛知	昭和二年五月	一、二五〇	産業	主事兼會計 荒谷 宗治
全産業労働組合全國會議	東京	昭和四年七月	九〇〇	一般	常任執行委員長 大道 憲二
港灣従業員組合聯盟	兵庫	昭和五年五月	六〇〇	産業	會長 濱田國太郎
日本労働組合聯合會	大阪	大正十三年五月	六〇〇	一般	中央委員長 後藤田正毅

二、單一組合

日本海員組合	兵庫	大正十五年五月	八九、〇〇〇	産業	組合長 濱田國太郎
海員協會	兵庫	明治四十年三月	一一、〇〇〇	産業	常務理事 金尾 治作
共同研究會	福岡	大正九年六月	六、六九六	産業	會長 藤原 代吉
労働組合純向上會	大阪	大正十一年十一月	六、一〇〇	一般	會長 八木 信一
東京瓦斯工組合	東京	大正八年七月	三、四六〇	産業	組合長 平野 安藏
東京モスリン工場従業員組合	東京	昭和三年八月	二、二〇〇	産業	組合長 樽井 寅藏
商船同志會	兵庫	大正八年一月	二、一〇〇	職業	會長 宮本 官治

横濱市従業員組合	神奈川	昭和三年七月	二、〇〇〇	産業	中央委員長	石井 安藏
大阪市電愛友會	大阪	大正十三年六月	一、九五〇	産業	會長	奥井 清三
日本漁業労働者組合	北海道	昭和四年四月	一、八三五	産業	組合長	中西伊之助
東京市従業員組合	東京	大正十三年五月	一、七〇〇	一般	中央委員長	小野 正造
横濱港仲仕共済會	神奈川	大正九年四月	一、五〇〇	職業	理事長	中谷 宗吉
日本美術友禪工組合	大阪	大正八年十一月	一、三五〇	産業	組合長	永田幾次郎
東電従業員組合	東京	昭和二年十一月	一、三〇〇	産業		
ダンロップゴム工組合	兵庫	大正十三年八月	一、二〇〇	産業	理事長	竹内 鶴喜
大阪電気労働組合	大阪	大正九年三月	九〇〇	産業	組合長	平岡雄三郎

以上の各組合のみ、労働組合として公認されざるも一般的なイデオロギーからみて、組合として準ぜらるべきものに、小作人組合を挙げることが出来る。その代表的なものは、社民黨系のと、政黨を超越した左翼的団体である

日本農民組合	東京	昭和四年十二月	一八、〇〇〇		組合長	片山 哲
全國農民組合	大阪	昭和三年五月	四一、〇〇〇		組合長	杉山元治郎

これらの諸組合中でも、最も有力にして有名なる二三組合は如何なる綱領と主張とをもつて日常闘争を展開してゐるだろうか。それらの思想的背景は、これによつて考へることは不可能であるが、そ

の片鱗を窺知することが出来やう。

(一) 日本労働總同盟

宣言——大正十三年大會——

今や我國労働運動は最も重要な轉換期に立つてゐる。吾等が大正十三年大會に於て茲に本宣言を發するは獨り日本労働總同盟の運動のみならず、廣く我國労働運動史上に於て特に重要な意義を帯ぶるものであることを確信する。

抑も無産階級運動労働運動はその對象たる資本主義發展段階とその段階を示す状態及び味方の勢力の變動に應じて絶えず戦術を變更して行かねばならぬ。

歐洲大戰によりて折開かれた社會不安の暗影は資本主義社會の内部的矛盾を益々増大せしめて、之を崩壞の危機に近づかしめ、それと同時に無産階級運動の飛躍的進展を見るに至つた、一方に於て支配階級は必死の勇を揮つて現制度の維持に努力し無産階級に對して假借なき彈壓の刃を揮ひつゝある。翻つて歐洲大戰後の我國労働運動を見るに無産階級勃興の世界的機運に刺戟せられて我國の労働運動に非常なる意氣と白熱的奮闘とを以て階級闘争に参加して來た、それに依つて我國労働階級の戰鬥分子は労働階級解放の目的と使命とを充分に自覺するに至り幾多の試練を経て漸く戰闘的労働組合の基礎を確立することを得たのである。

元來我國の資本主義は順調なる發達を遂げざる間に世界の激烈なる帝國主義的形勢に壓迫された結果、早熟のまゝに資本主義發達の最後の階段たる帝國主義の形態を執るに至つた。故に我國の資本主

18 義を経ずして、直ちに軍國主義化し従つて軍制的色彩を多分に帯び無産階級運動の自由を抑壓する幾多の障碍を横へて居るのである。

その上に將に高潮に達して居る世界的階級闘争の機運は歐洲大戰後漸くにして自覺せる我國無産階級の少數分子をしてその思想的水準を急激に高めしめたが、一方に於て労働組合の無産階級解放運動に於ける使命と職分とを認識することを得なかつた、斯くの如き形勢は必然的に無産階級運動の大衆化を困難ならしめ燃ゆる少數者の運動も動もすれば潔癖と生硬に傾かしむるに至つた。

我等は過去に於ける労働運動の過程は必然的に我國主義の變化的發展に應じたものなることを斷言する、けれ共若し我等が今後猶依然として舊來の態度を持續するならばそれこそ大なる誤であり過失を犯すものである。

何故ならば今や吾等は過去に於けるよりも其の政策をより現實化し積極化さねばならぬ必要に迫らば、今や吾等は過去に於けるよりも其の政策をより現實化し積極化せねばならぬ必要に迫られて居る而して其の必要は最近に於ける我國資本主義の示しつゝある傾向と労働階級の勢力の増大を吾等が正確に觀察する事を得たからである。我國の労働組合運動は少數の運動から轉じて大衆的運動に向ふべき一階級に到達したのである。改良的政策に對する從來の消極的態度は積極的に之を利用すること改められねばならぬ、例へばブルジョア議會に依つて労働階級の根本的解放を期待する處毫もなきは勿論なれ共、普選實施後に於ける選舉權を有効に行使することによりて政治上の部分的利益を獲得すると共に無産階級の政治的覺醒を促し又國際労働會議に付ても之が對策を慎重に考慮し以て我國労働組

合發展のために計るべきである。

我等は階級的利害の一致に依り分立せる労働組合の合同は無論組織されざる労働階級の結束を計り現實的利益を獲して終局の目的に向つて進むべき労働組合運動本來の面目を發揮しなければならぬ。

吾等は明確なる批判力と階級意識に目醒めたる今日の戰闘的労働組合員は支配階級が労働階級の革命的精神を鈍らす爲めに與へんとする改良的政策を利用するとも斷じて墮落せざることを信するのである。

吾等が無産階級解放運動は今後と雖も隨時敵の伏勢と味方の勢力の變化に應じて其戰術を變更されねばならぬ、然し乍ら如何に現實の爲めに政策上に變化が行はれやうとも無産階級解放の根本的精神には毫も變りなきことを誓明する。

綱 領

- 一、我等は團結の威力と相互扶助の組織とを以て經濟的福利の増進に知識の啓發を期す
- 二、我等斷乎たる勇氣と有効なる戰術とを以て資本家階級の抑壓迫害に對し徹底に闘争せんことを期す
- 三、我等は労働階級と資本家階級とが兩立すべからざることを確信す、我等は労働組合の實力を以て労働者階級の完全なる解放と自由平等の新社會の健設を期す

主 張

- 一、八時間労働及一週四十八時間制度の實施（但し鑛山労働者の坑内労働は坑口交代六時間一週三

十六時間制とす

- 二、同一労働に對し賃銀の差別撤廢
- 三、最低賃銀の設定
- 四、臨時雇傭及日雇制度反對
- 五、夜業の廢止
- 六、治安警察法治安維持法撤廢
- 七、メーデー全國的休業
- 八、經濟的行動の全國的協力

二、日本労働組合總聯合

行動大綱

一、労働階級の現實的要求を基調とすること

我等は労働階級が當面せる切實なる要求にはそれが部分的たると改良主義的たることを問はず卒直にこれを實踐に移し全無産階級の闘争にまで發展せしむるべきである。かくの如き部分的行動と行動の綜合により全面的行動に發展せしむることによつて初めて組合運動の眞使命が行動を通じて労働大衆に認識され、組合の組織力と統制は強大化されるのである。

二、組合の組織形態は現實に即せしむるべし

労働組合の組織形態は、一律に中央集權又は自由聯合組織に固定化せしむべきではなく、諸種の客

觀的条件を考慮し最も現實に適合せる組織を以て漸次有權的集中組織の完成に向つて進むべきである。日本労働組合總聯合は日本の地理的形狀、組合自らの實力、社會の客觀的狀勢等を綜合して左の如き組織形態によるべきである。

(イ) 産業別並に同一資本系統の區別は組織又は闘争上の便宜的區別であつて現段階に於ける最も有効なる組織は産業又は職業別を横斷せる地域的結合の強力なる集中組織である。

(ロ) 強力なる集中組織は(現日本の諸條件並に組合の資力を考慮して)各府縣聯合會にては小に過ぎて全國的には大きすぎ、故に日本を北海道、關東、關西、九州の四大別に分ち地域的聯合會を設け強力なる有機的組織を構成すべきである。

(ハ) 全國的組織は聯合組織を採用し産業別並に同一資本系統は全國的協議會を設くべし

三、全組合員を組合運動に参加せしむべし

我等は、組合の量的擴大とその發展に従つて、組合それ自身の組織を合理化し以て戰鬥力の強大化を期せねばならぬ、そのために、

(イ) 有機的集中組織を確立し、科學的なる集中化と分化(専門化)を遂げ、鐵の如き統制力を持たねばならぬ。

(ロ) 組合民主主義組織を確立し、組合員指導部の意志を相互に相反映せしめ以て運動の固定化を防ぎ全陣營を躍動せしめねばならぬ。

かゝる組織の下に組合員を不斷に訓練する事によつて、我等の組合員は單に組合費を納入するだけ

②の組合員でなく、その勞力と經濟力を擧げて全運動に捧げる眞實の組合員たらしめることが出来る。

四、統一戦線の基調は戦闘力強大化にある。
我國勞働組合統一戦線の樹立は幾度か企てられたるも、今なほ事實上不可能に近い形勢である、それにも拘らず我等は統一戦線の確立を期するものである。しかし乍ら統一戦線樹立の基調は闘争力の強大化でなければならぬ、故に我等はそれ自体の組合の擴充を計りつゝ、また分裂主義を徹底的に克服しつゝ、戦線の統一を計らむとするものである。

五、我等の教育方針

(イ) 我等はブルジョア偽瞞教育の曝露と、正しき無産階級の教育の徹底を期す、その教育題目は凡そ左の如くである。

一、世界及日本の社會狀勢に關する教育

二、無産階級解放諸方策に關する教育

三、勞働組合運動に關する教育

四、總聯合指導精神に關する教育

(ロ) 我等の教育は、その對象によつて凡そ左の三種に分類される

一、組合闘士に對する教育

二、一般組合に對する教育

三、未組織勞働者に對する教育

(ハ) 更にその手段方法は凡そ左の如く區別し得る

一、講習會、講演會、研究會、茶話會、演說會等の集會による場合

二、新聞、パンフレット、リーフレット、ビラ等文書による場合

三、實踐的闘争へ動員することによる場合

六、誤まれる指導精神は批判克服すべし

我等は正しき、無産階級教育の普及徹底と相俟つて、誤まれる指導精神を徹底的に批判克服すべきである。

即ち我等は、未だ階級意識に目醒めざる勞働者の現實的要求にも即して行動すべきである。

しかし乍らそれは明白に支配階級の意圖に即することにあらずしてそれを通じて無産階級意識への指導である、世に親しく現實主義と稱せるも支配階級に陥没する現實主義の如き我等の克服せんとするところのものである。更に又、永き搾取と奴隸的支配に惱みつゝもいまだ階級意識に目醒めざる勞働者の要求を無視し現實遊離したる觀念的革命主義の如き白日の下に曝露して粉碎克服せねばならぬ、かくて彼等を克服指導して正道に導き、未だ階級意識に目醒めざる勞働大衆を織り込むことが出来る。

七、我等の政治闘争

③ 我國現下の狀態の下に、勞働組合の政治闘争への進出は必然にしてまた不可缺のことである、しかしながら我等の政治闘争への進出は無産政黨支持を意味するものであつて共産黨系の如く勞働組合を

24 無産政黨の下に隷屬化せしむることではない。

従つて黨と組合とのそれ／＼の任務を明確にし（労働階級の利害を代表する經濟闘争の機關であり無産政黨は全被壓迫民衆の政治闘争の機關である）その組織任務、闘争政略は明確に區別さるべきものである。我等はこの見解の下に無産政黨を批判し、これを支持しその任務を遂行せしめねばならぬ。しかしながら勿論、黨と組合は無産階級の根本的解放のため相協力すべきは云ふまでもない、而して兩者の緊密なる關係を維持するためには、人事に於て緊密なる關係を維持することが（組合事務に差支へなき限り）最も容易にして當を得たる方策と信ぜらる。

政治部は黨との正式なる聯合機關として（無産政黨連絡委員會）を設けると共に労働法制調査委員會を設けること。

八、本部及所屬組合社會部は左の事業に留意努力すべきである。

一、職業紹介部の充實

二、労働銀行の確立

三、消費組合運動促進

四、産兒制限運動の援助

五、無産家庭婦人の教化

註——右行動大綱は昭和四年度大會に於て昭和五年度大會（昭和五年十月開催）迄の行動基準として發表せられたるものである。

綱 領

一、我等は労働組合主義に基き労働階級の解放を期す

一、我等は團結の偉力を以て公正なる分配の實現を期す

一、我等は相愛扶助の信義を確立し以て新社會の建設を期す

(三) 全國労働組合同盟

主張（昭和五年六月一日創立大會で決定されたるもの）

一、資本家的産業合理化絶對反對

二、失業救済施設の即時實施

三、賃銀値下げ並に解雇絶對反對

四、官僚的雇傭契約並に就業規則の改廢

五、中間搾取制の徹廢

六、臨時雇傭制の徹廢

七、二重賃金制の徹廢

八、同一労働に對する同一賃銀

九、婦人並に少年労働者の寄宿制度の改廢

一〇、最低賃銀制の設定

一一、八時間労働制及び一週四十八時間制の實施、但し鑛山労働は坑口交替六時間制及び一週三十六時間制とす

一二、無産階級運動暴壓法令の徹廢

- イ、治安維持法の撤廃
- ロ、治安警察法の改廢
- ハ、労働争議調停法の改廢
- ニ、暴力行爲取締法の撤廢
- ホ、行政執行の改廢
- ヘ、警察犯處罰令の改廢
- ト、刑法其他労働運動關係法規の改廢
- チ、盗犯防止令の撤廢
- リ、違警罪即決令の撤廢
- 一三、團結權、罷業權、團體交渉權の獲得
- 一四、労働立法の改正並に制定
- イ、現行工場法の改正
- ロ、現行海員法その他海員關係法規の改正
- ハ、現行鑛業法の改正
- ニ、交通労働者特別裁判法の制定
- ホ、屋外労働者災害保償法の制定
- ヘ、商業使用人保護法規の制定

- ト、現行民法中の雇傭契約關係法規の改正
- チ、現行健康保險法の改正
- リ、失業保險法の制定
- ヌ、養老保險法の制定
- ル、廢疾保險法の制定
- ヲ、婦人並に幼年労働者保護法の制定
- 一五、労働者の政黨加入の自由並に選舉權行使の絶對自由獲得
- 一六、メーデーに全國的休業
- 一七、労働組合戰線の統一
- 一八、無産階級政治戰線の統一
- 一九、殖民地労働者の差別待遇撤廢
- 二〇、帝國主義戦争の危機に對する闘争
- 二一、無産階級の國際的提携

綱 領

- 一、我等は團結の威力を以つて労働條件の向上を圖り進んで労働階級の解放を期す。
- 一、我等は強固なる組織と有効なる戰術を以つて資本家階級の搾取と壓制に對し徹底的に闘争せんことを期す。

一、我等は階級的立場に立ち無産階級的政治勢力の擴大を期す。

宣言 (創立大會)

全國の労働者諸君！ 日本労働組合同盟、労働組合全國同盟、北海道労働總同盟その他の諸組合は茲に「労働者大同團結」の精神に則りて合同大會を開き、新なる全國同盟たる「全國労働組合同盟」を創立した。本大會は新同盟の門出に當り、我等の労働運動に對する態度と抱負を宣明して全大衆の協力と支持を要請するものである。

全世界を擧げて未曾有の行詰り状態に逢着せしめたる資本主義は、我が國においても我等無産階級の眼前に於て狂暴を極めつゝある。全國で百萬を超へ尙日増しに激増を示しつゝある未曾有の失業労働者の生活を人間生活以下に押しつけんとする極度の賃銀値下げ、土地を奪はれて餓死に瀕する貧農の激増、中小企業の没落と小市民の急速なる零落、かくて無産階級の生活の脅威は底止する所を知らない。かゝる脅威に直面する全無産階級は如何なる方面に動きつゝあるか、運命と諦らめんか、只餓死を待つのみである。資本家の温情にすがらんとするか、だが彼等資本家階級は既に自ら温情主義の仮面を棄て、我等に猛襲し來たつて居る。今や、我が無産階級の擇ぶべき前途は、餓死か闘争の一つあるのみ。かくて工場に鑛山に、農村に、街頭に、全大衆の新たな闘争の波は捲き起され、資本の戰線的攻撃を反撥せんとしつゝある。我等の全國労働組合同盟は、この全大衆の間にみなざる未曾有の不安動搖の中に巖然として起ち、全大衆の心臓を心臓として徹底的に闘ふために、その陣容を確立したので。翻つて我國無産運動の陣容を顧り見るに、最近に至つて労働組合は着々増加する傾向に

あり無産政黨は一應その成立を見、かくて着々過度的形態を脱し來たつた。だが、その實勢力はその背後の巨大なる未組織大衆とその前面の資本の全線的攻勢に比すれば、尙微力たることを否むことが出来ない。思ふに、此の據つて來る所以は多くあるべしと雖も、その主なるものは階級戦線の分裂の現状及び労働運動に對する確固たる信念の缺如である。

由來、無産政黨の合同は労働組合戦線統一と共に今や切實の問題となりつゝあるが。然かも現實に解決すべき主力及び根本方針の缺如は、かゝる緊急問題の解決を遷延し來たつた。我等は政黨と組合の合同運動の發展は、相互に關聯し之を個々に取り扱ふことは許されないが、しかも現下の情勢においては労働組合戦線の統一強化こそは、これが拍車たり、決定的條件たること 確信する。而して労働組合戦線の分裂を排除する途は、過去の幾多の誤れる統一方針に交ふるに迄、確かなる客觀的諸情勢の組織に立脚せる産業別組合確立を主流とする統一方針を以てしかして労働組合をして本來の職能を發揮せしめるにある。思ふに我國の労働組合運動は幾多の理論的遊戯の對象とされて、その實力の養成を欠き、或は余りに多く勞資協調主義の犠牲とされて階級戦生長を阻止されて來たつた。かくてその間に、確固たる階級的大衆勢力の結成は遅れんとして進み、労働組合の將來の發展性に對する見透しは稍もすれば失はれんとする。之等は我國の労働組合運動が尙過度期の性質を脱脚し得ざるに依るとは云へ、一面亦労働組合運動に對する確固たる信念の欠如に禍される所が多い。我が同盟は茲に我が國に於ける全労働大衆自体の日常闘争の階級的同盟としての使命を自覺し新局面の展開に邁進するものである。

全國労働者諸君!!

今や、我が全國労働組合同盟は生れた。既に益々つり來たる資本の曝壓を前にし、又大衆の闘争的進出を背景として階級的巨歩を踏み出した。我等の進軍は必然に全大衆を統一戦線に構成し更に強力なる一大大衆闘争の主動力たることを約束する。

全大衆よ!腕を組んで資本の曝壓に抗争せよ!

輝ける全國労働組合同盟の旗の下に!

(四)、日本労働組合全國協議會

行動綱領(昭和三年十二月二十五日開催全國代表者會議に上程)

- 一、労働者の言論、出版、集會、結社の自由獲得
- 二、労働組合の組織並に活動の自由
- 三、労働のストライキの自由
- 四、治安維持法、争議調停法、暴力行爲取締法其他一切の労働運動抑壓法令の撤廢
- 五、御用組合階級調査組合並に労働官僚の徹底的排撃
- 六、労働者の政黨加入の自由
- 七、男女十八歳以上の選挙権並に其行使の絶対自由
- 八、七時間労働制鑛山労働並危険作業及男女十八歳未滿の労働者の五時間労働の即時實施
- 九、最低三圓賃銀の即時實施並休日給全額支給

一〇、團體協約權の獲得

一一、國庫全額負担による失業保險法の獲得並に老廢労働者の死亡せる遺族の國庫負担による保險法の獲得

一二、健康保險法の徹底的改正保險料の國庫全額負担

一三、工場設置の改善

一四、工場法、鑛業法、海員法の改正並に交通運輸、鑛山、水産、森林、塩田、土木、建築労働者及自由労働者特別保護法の獲得

一五、官僚的就業規則撤廢

一六、封建的雇傭契約臨時雇傭制度撤廢

一七、婦人青少年労働者保護制法定即時實施

一九、自山的工場委員會、工場代表者會議組織のための闘争

二〇、労働者負担の一切の租稅撤廢

二一、公費に依る労働者住宅の設置並に其労働者による管理權の獲得

二二、解放運動犠牲者の救援のための闘争

二三、全國労働組合戦線統一

二四、全國産業別労働組合組織の確立

二五、朝鮮台灣労働者の労働組合運動の自由並に内地労働者と同一待遇の獲得

- 二六、汎太平洋労働組合會議支持
- 二七、國際労働會議アジヤ労働會議反對
- 二八、對支絶對非干涉
- 二九、サヴェツトロシアの防衛
- 三〇、帝國主義戰爭反對

註——第一篇は充分に盡くさざらうらみがある。いづれ第二篇で爭議、將來への展望等を書きたいと考へてゐる。第一篇の盡くさざるところを宥恕されたい。

4
0